

資料 1. ナショナルデータベースを用いた子どもの外傷・傷害診療の現況把握に関する研究

表 1 本研究で使用した傷害分類

主カテゴリ	副カテゴリ										
頭部	皮膚軟部損傷	頭蓋骨骨折	頭蓋内損傷	脳震盪			血管損傷			その他	後遺症
顔面	皮膚軟部損傷	骨折	脱臼	捻挫・靭帯(筋・腱)損傷	神経損傷	血管損傷	眼球損傷			その他	後遺症
頸部	皮膚軟部損傷	骨折	脱臼	捻挫・靭帯(筋・腱)損傷	神経損傷	血管損傷	臓器損傷			その他	後遺症
体幹部	皮膚軟部損傷	骨折	脱臼	捻挫・靭帯(筋・腱)損傷	神経損傷	血管損傷	臓器損傷			その他	後遺症
上肢	皮膚軟部損傷	骨折	脱臼	捻挫・靭帯(筋・腱)損傷	神経損傷	血管損傷				その他	後遺症
下肢	皮膚軟部損傷	骨折	脱臼	捻挫・靭帯(筋・腱)損傷	神経損傷	血管損傷				その他	後遺症
多部位	皮膚軟部損傷	骨折	脱臼	捻挫・靭帯(筋・腱)損傷	神経損傷	血管損傷				その他	後遺症
部位不明	皮膚軟部損傷	骨折	脱臼	捻挫・靭帯(筋・腱)損傷	神経損傷	血管損傷				その他	後遺症
異物	気道異物	消化管異物	口腔内異物	咽頭・扁桃異物	耳鼻科異物	眼科異物	泌尿生殖器異物			その他	後遺症
熱傷	A. 頭部	B. 顔面	C. 頸部	D. 体幹部	E. 上肢	F. 下肢	G. 多部位			その他	後遺症
腐食または凍傷	A. 頭部	B. 顔面	C. 頸部	D. 体幹部	E. 上肢	F. 下肢	G. 多部位			その他	後遺症
中毒	薬物中毒	薬物以外の毒作	食中毒	有毒生物						その他	後遺症
その他	熱中症	低体温	窒息	虐待						その他	後遺症
該当外										その他	

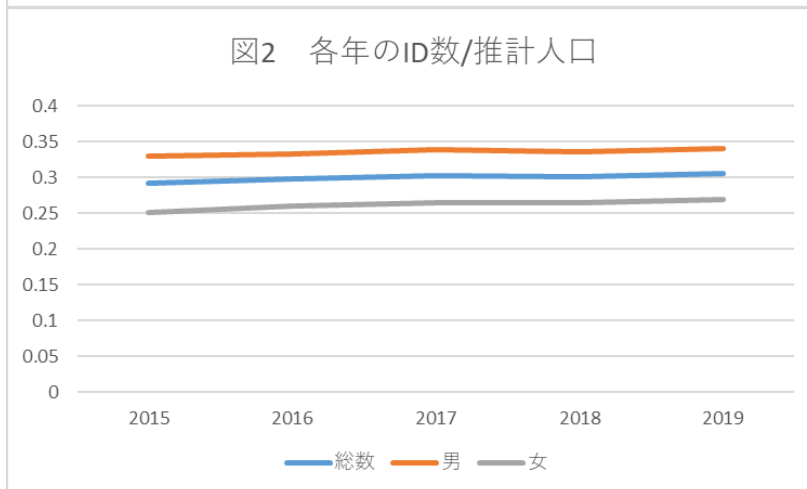
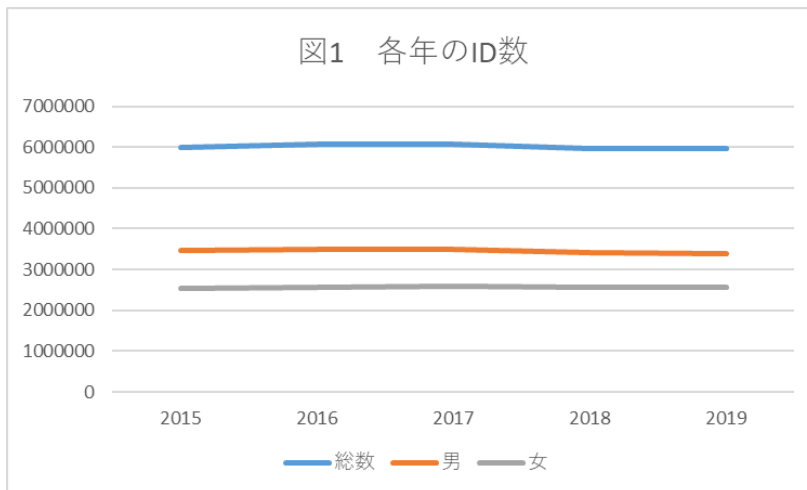


図3 各年の年齢別ID数

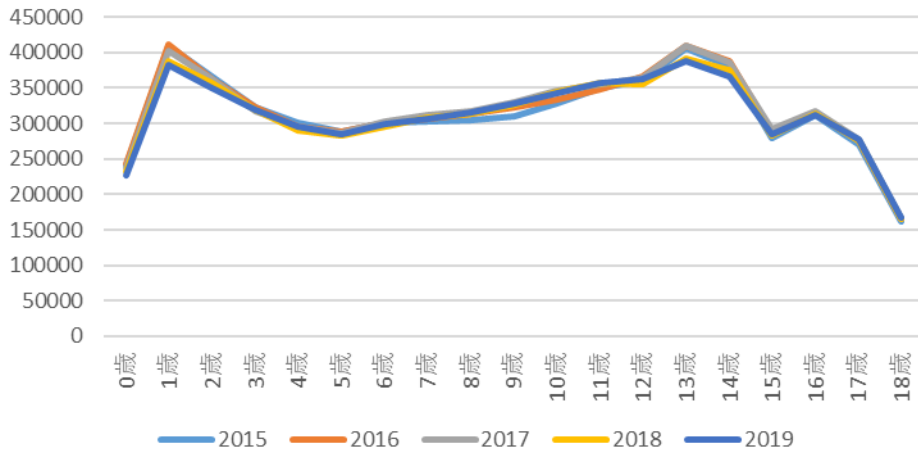


図4 各年の年齢別ID数/推計人口

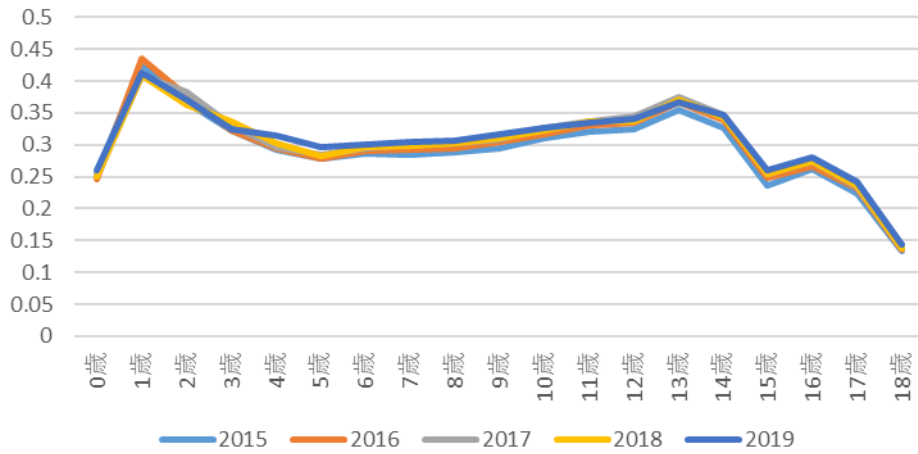


図5 都道府県別ID数/推計人口（*都道府県別の推計人口は0-19歳を使用）

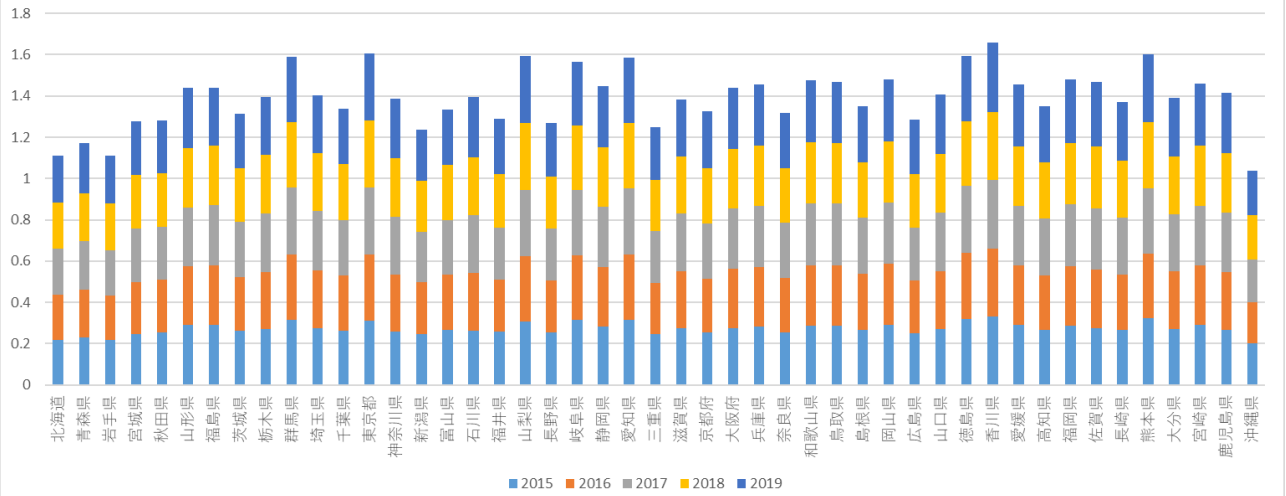


図6 2015-2019年診療分：部位別・男女別発生頻度

件数 ÷ 推計人口 × 1000

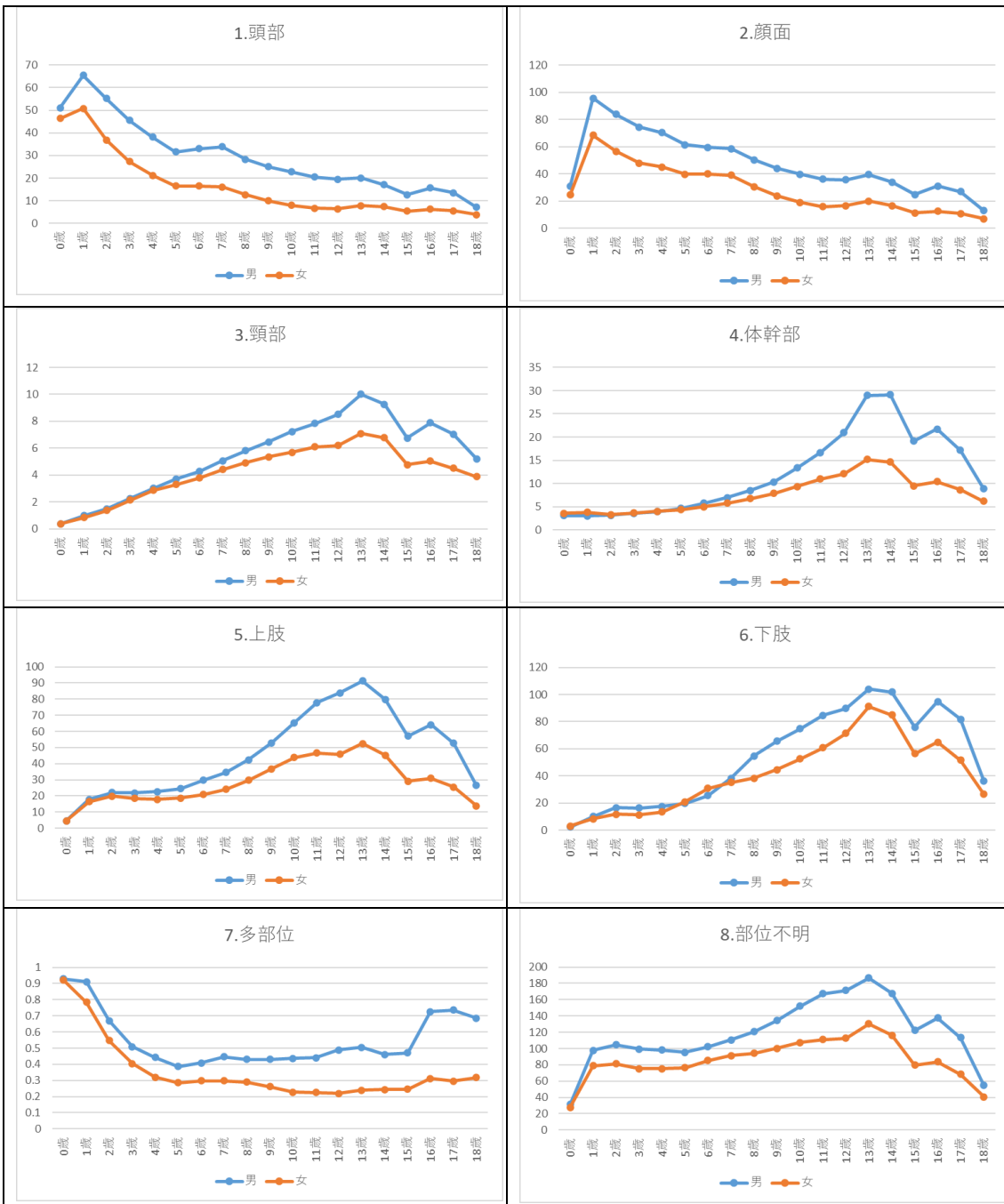


図6 2015-2019年診療分：部位別・男女別発生頻度（つづき）

件数 ÷ 推計人口 × 1000

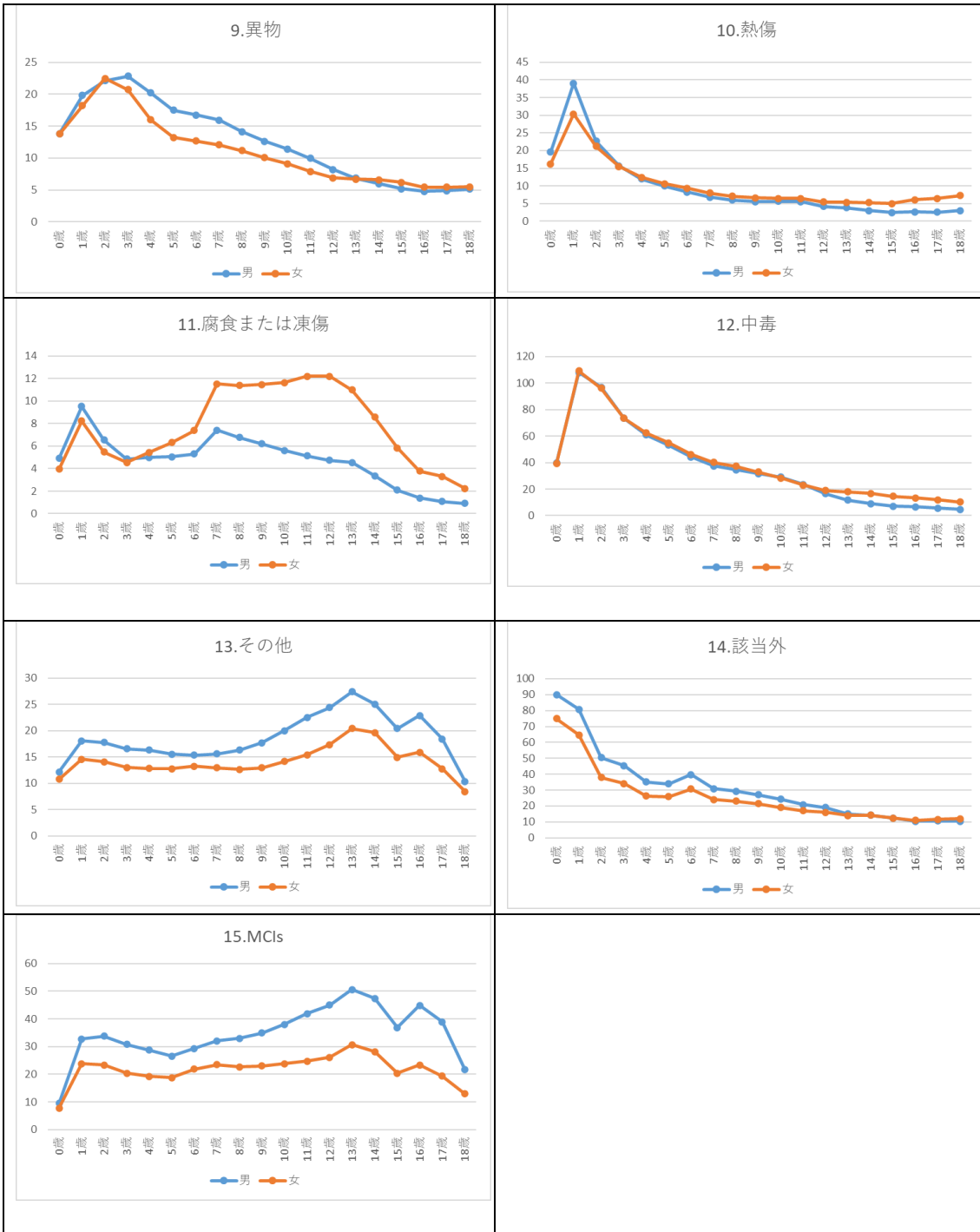


図7 2015-2019年診療分：部位別・副カテゴリ別発生頻度

件数 ÷ 推計人口 × 1000

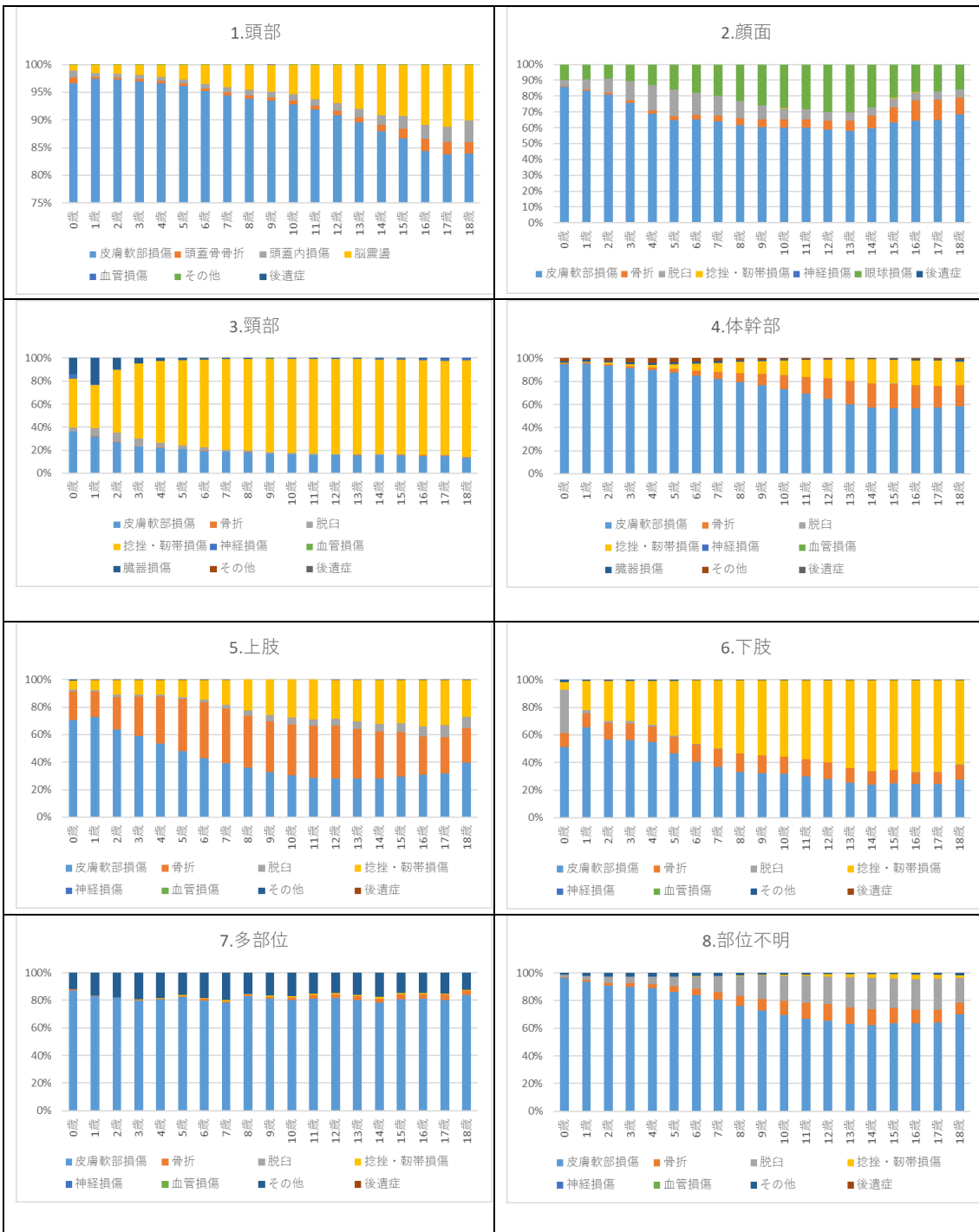


図7 2015-2019年診療分：部位別・副カテゴリ別発生頻度（つづき）

件数 ÷ 推計人口 × 1000

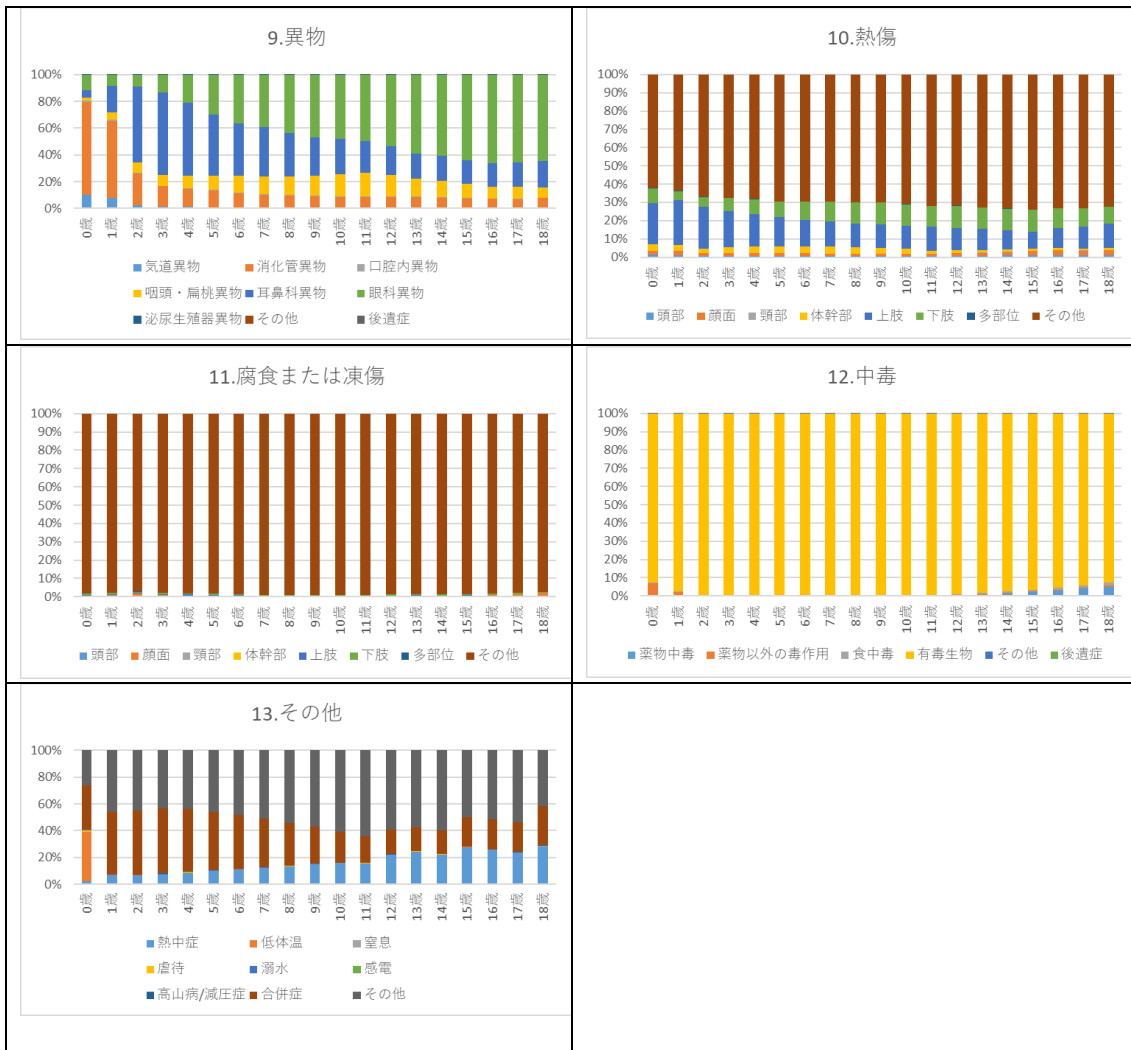


図8 2015-2019年診療分：傷害の種類別発生頻度

件数 ÷ 推計人口 × 1000

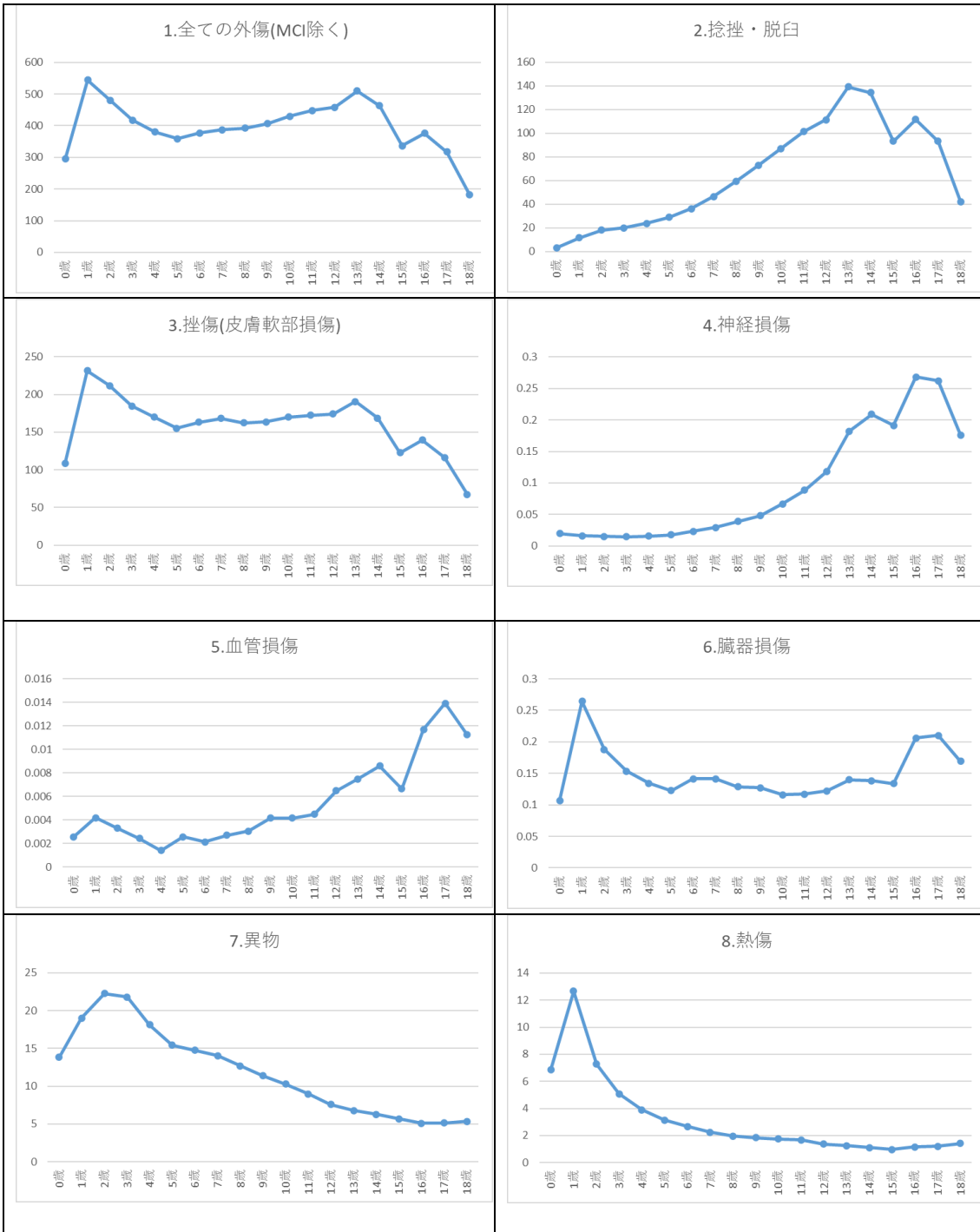


図8 2015-2019年診療分：傷害の種類別発生頻度（つづき）

件数 ÷ 推計人口 × 1000

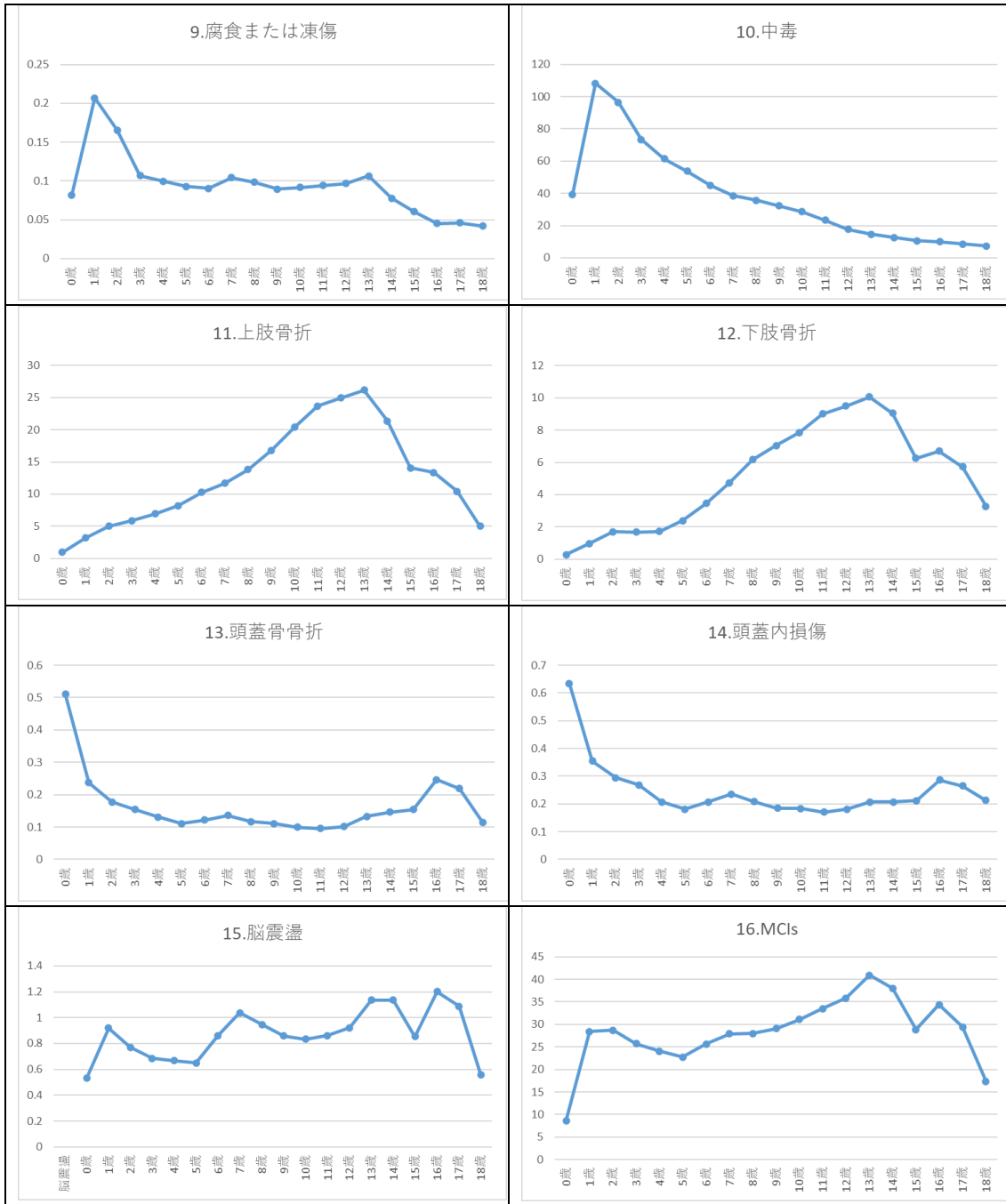


図9 2015-2019年診療分：傷害の種類別・処置手術入院別発生頻度

件数 ÷ 推計人口 × 1000

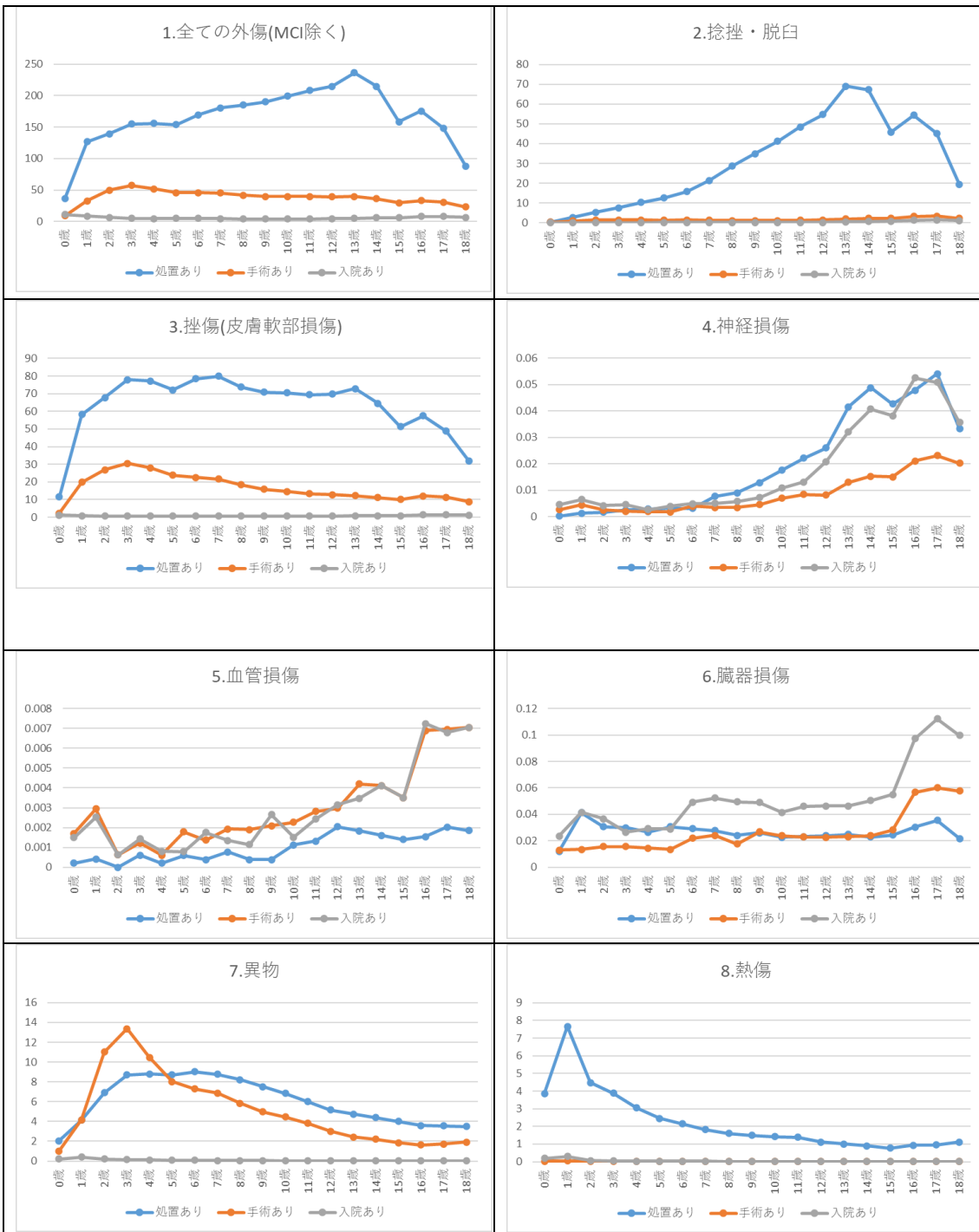


図9 2015-2019年診療分：傷害の種類別・処置手術入院別発生頻度（つづき）

件数 ÷ 推計人口 × 1000

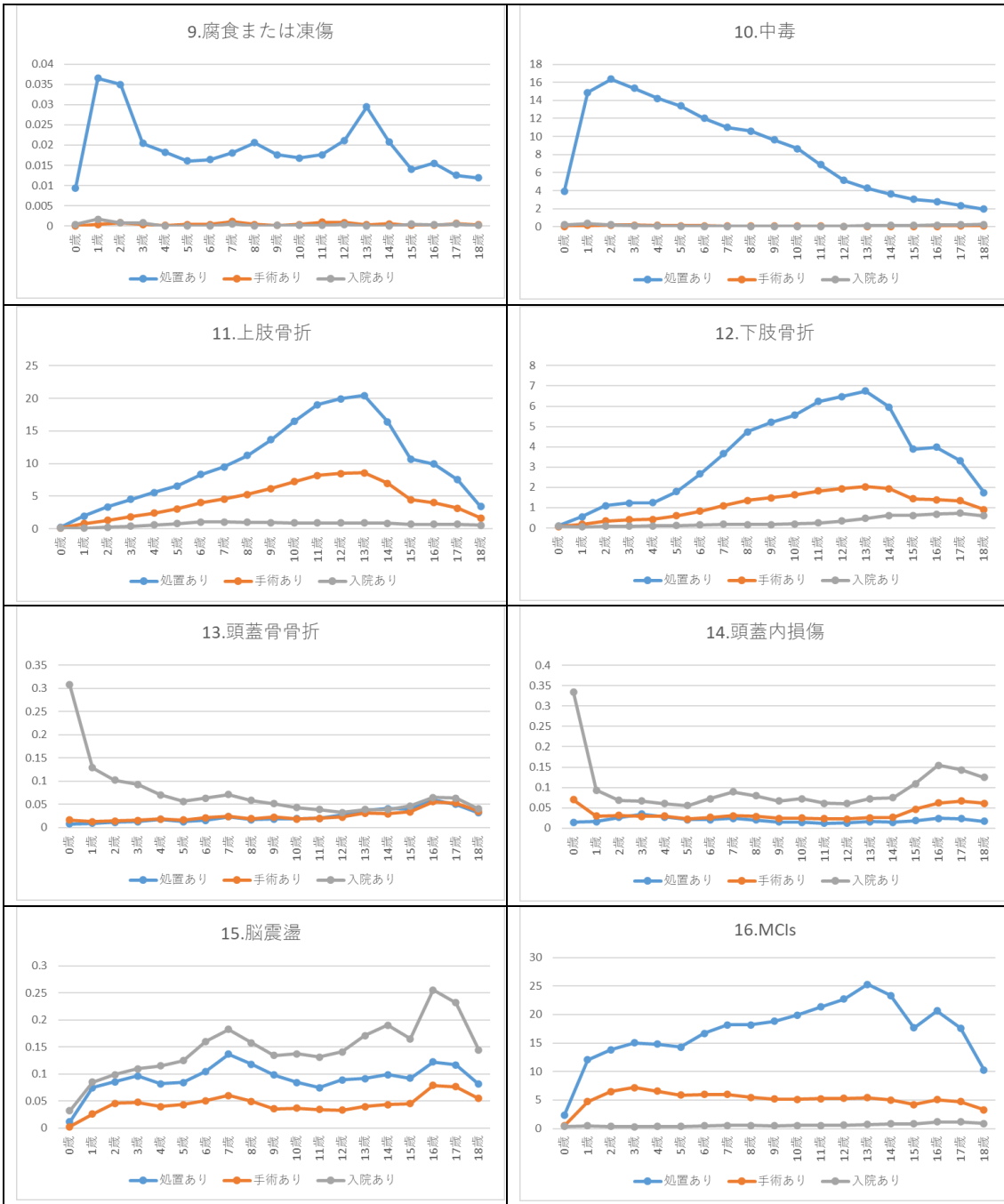


図 10 2015-2019 年診療分：傷害の種類別・病床数別発生頻度

件数 ÷ 推計人口 × 1000

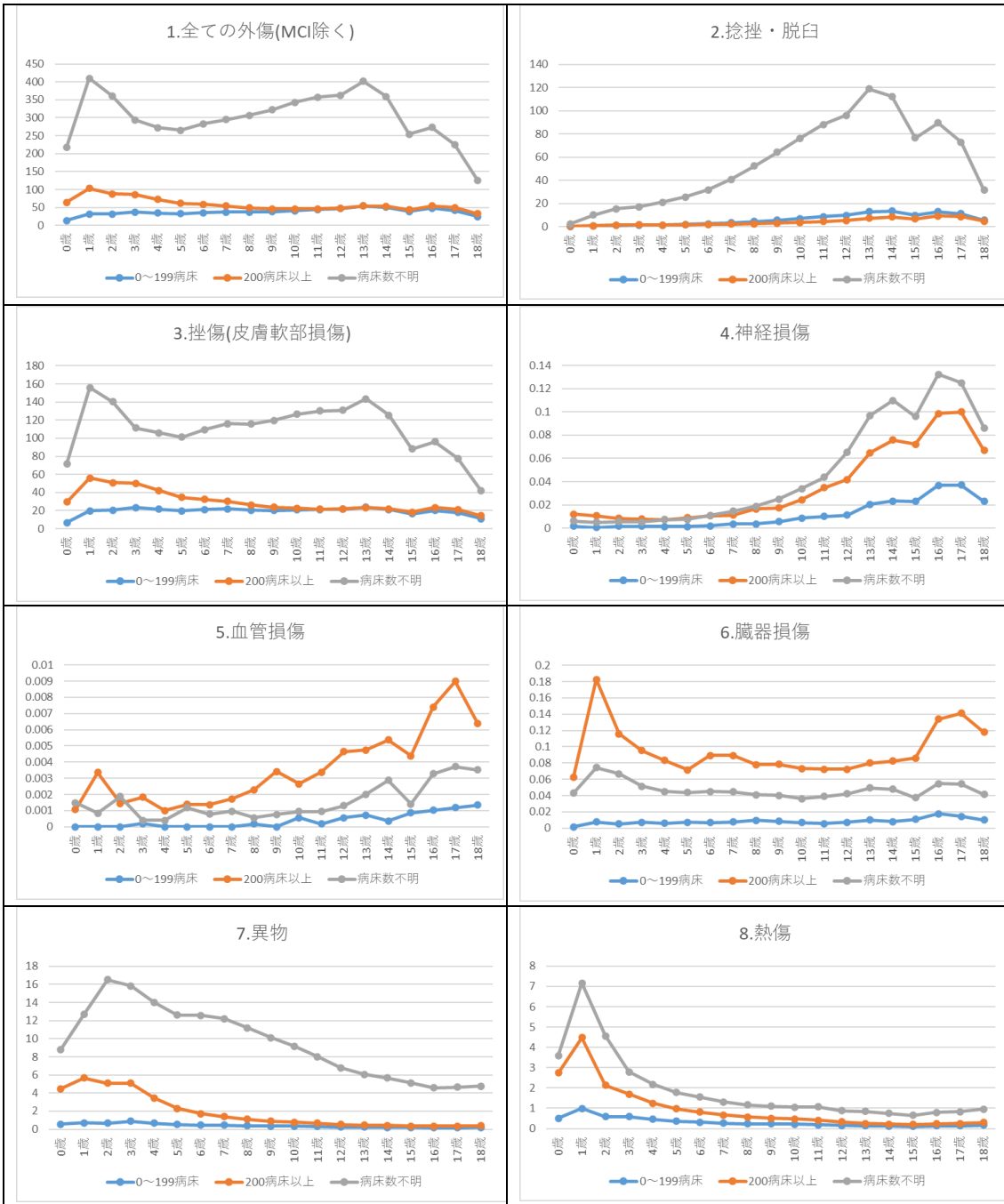


図10 2015-2019年診療分：傷害の種類別・病床数別発生頻度（つづき）

件数 ÷ 推計人口 × 1000

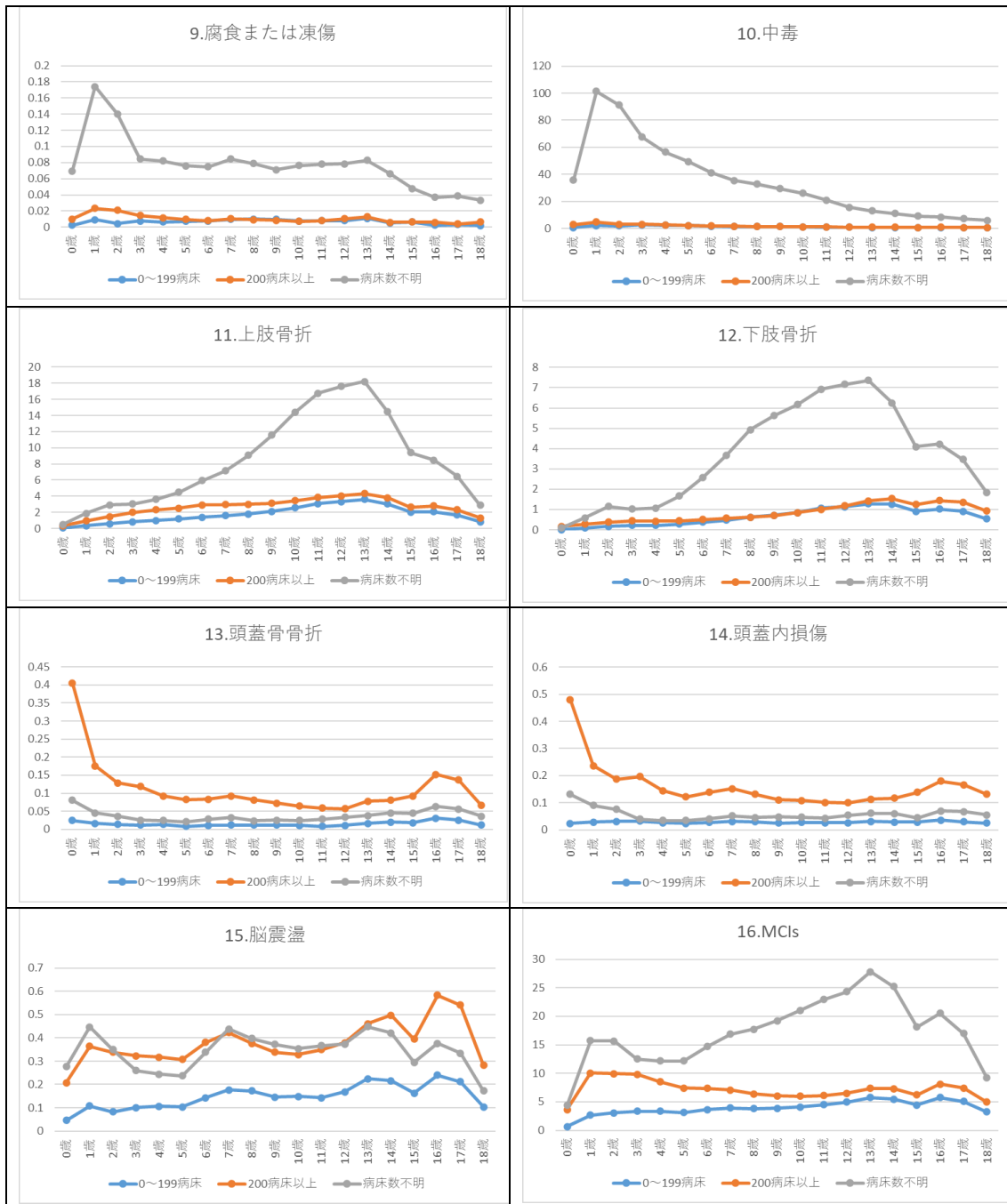


図 11 2015-2019 年診療分：傷害の種類別・救命救急センター該非別発生頻度

件数 ÷ 推計人口 × 1000

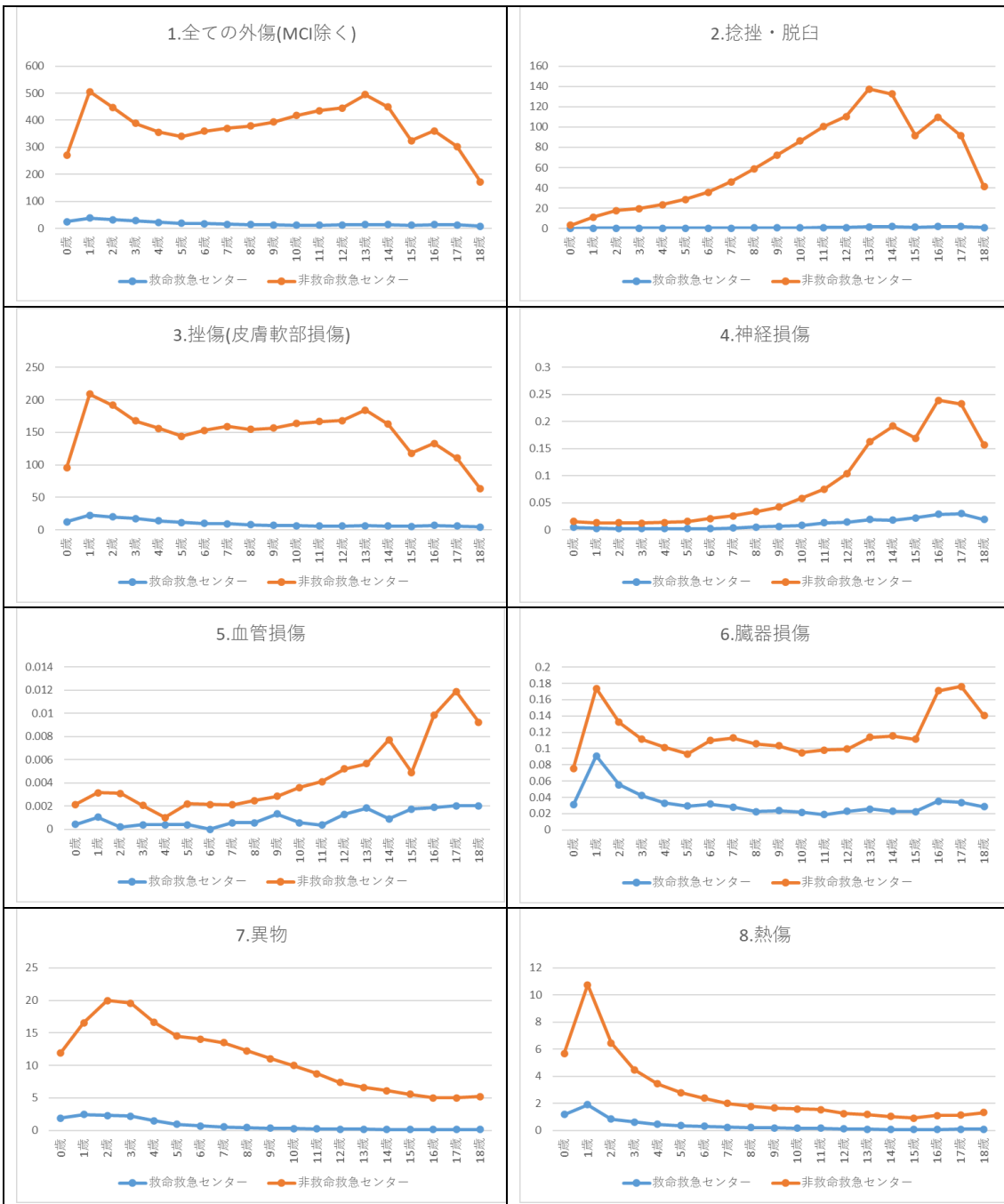


図 11 2015-2019 年診療分：傷害の種類別・救命救急センター該非別発生頻度（つづき）

件数 ÷ 推計人口 × 1000

